

5月の星空まっふ

【5月中旬、午後8時頃に見える星空】

今年の春の暑さ、どうしたことじやろう。桜は、この暑さに大慌てで、例年に無い速さで桜前線は北上を続けた。そんな季節の移ろいじやが、春の星空はみんなを待っておる！
 一い。ホントに変なお天気?!
 暑かったり寒かったりで体調も狂っちゃいそう。でも元気に春の星空に出かけようツツ!

探そう、春の

星空の道しるべ!!

「北斗七星」って言う名前、多分多くの人が知っている事じやろう。この時期、天頂辺りに目を向ければ、誰でも必ず見つけることができる。まっふの真中辺り、線で結んだ7つの星並び、これが「北斗七星」。一度覚えたらきっと忘れないはずじや。

もし知らなかったり、忘れてしまっていたら、この春ぜひ覚えておこう。この北斗七星、この時期北の空のどこかに見えるからお。必ず、北の方向に見えることから、自分の位置をほぼ知ることができる。「北極星」を探す目印でもあり、まっふの表示を参照して見つけて見よう。

ところで、日本ではひしやく形と呼ぶが、整った北斗七星の星並びは、昔から世界各地で様々な形に見立てられておる。スプーンが多いが、馬車とか荷車、農具のすき、パンなどと呼ばれて親しまれておるようじやな。

N7F



月の動きを観察してみよう?!

月を見て、「あれ、昨日はあそこに見えていたのに?」なんて感じたことはないかな? そう、月は一日ごとに形と位置を変えている。そんな、月の動きを5月の空で観察してみよう。まず1日、南天に上弦後のチョッと丸みが増した月が見える。その後、毎日同じ時間頃、更に丸みを増しながら東に移動、6日には満月と なって東の空から顔を出す…。
 こんな風に、月は西から東へといくつもの星座の中を巡って移動している。その通り道は、まっふに点線で示したほぼ「黄道」上。「へー?!」と思ったら、よーく観察してみよう。そして、満月後の月もどうなるのか、頭を巡らせてみよう!
みずがめ座 η (エータ)

流星群を観察しよう!

流れ星の極大は、7日午前0時頃と予想。みずがめ座が昇ってくるのは、午前2時から3時頃の南東の空。満月直後の明るい月が西南の空にあり、観察条件はあまり良くないが、東の空を中心に観察してみよう。とは言え、未明はきついので、見頃は5日~7日の宵から夜半にかけてじやな。
 *流星群の出現期間は、4月25日~5月20日。

【星空まっふの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっふをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね!

- 1等星以上
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

